

建物維持保全講習会開く

福岡市施設整備公社ら



本日は福岡市防水協会の鈴木技術委員長にも来て頂いているので遠慮なく質問を」と述べた。

講習会では、「雨漏りの原因」についてのテーマで、同公社施設課の服部忠彦係長がこれまでの修繕業務の経験を基に、コンクリート造の建築物における外壁や屋上防水からの雨漏りの原因や日常点検について説明した。

（財）福岡市施設整備公社は3日、福岡市防水協会との共催による「平成25年度建物維持保全」講習会Ⅱ写真Ⅱを福岡市博多区

の福岡国際会議場において開催、市民から応募があった30人が参加した。

開会挨拶で、同公社施設課の薄俊也課長は「市

が保有する施設は約2000あり、その維持保全業務を行っている。毎年約8000件の修繕業務を行っているが、最も多いのは給配水設備の配管及び衛生設備の修繕となっており、本日のテーマである雨漏りについては5番目で100件から150件発注している。

終了後には、既存の建築物に太陽光を設置する際の注意点は何か、点検はどのくらいの間隔で行えばいいのか、などの質問があった。

その後、隣の会場で行われていた福岡市防水協会の展示品説明会に参加、防水関連メーカー13社による商品説明を熱心に聞いていた。